

午後Ⅰ試験

問 1

問 1 では、人事及び経理業務のアウトソーシングと ASP サービス導入について出題した。題意はおおむね理解されていたが、状況設定や設問を注意深く読んでいないと思われる解答も一部に見られた。

設問 1 の正答率は高かったが、(1)～(3)の視点の違いを十分把握できていない解答も見受けられた。

設問 2 では、ASP サービス導入に関するコスト把握の視点について解答を求めたが、“運用費用が考慮されていない”などの表現で、様々な費用を列挙するだけの解答も多かった。

設問 3(1)は、正答率が高かった。しかし一方で、契約とは関係ない情報セキュリティの確認事項を記載した解答も多く見受けられた。日ごろから、契約についても関心をもつようにしてほしい。

システムアナリストは、業務要件及びシステム要件を整理できるだけでなく、経営戦略や外部 IT ベンダの活用の視点からもシステム化計画を検討できる実践能力を身につけてほしい。

問 2

問 2 では、住宅用の機器販売会社のシステム再構築について出題した。全体として正答率は高く、状況設定や題意はおおむね理解されていた。

設問 1(2)では、“概算費用を照会する機能”について記述した解答が多かったが、この設問の状況では、問合せ対応において使用する機能を求めているので、問合せ時点ですぐに照会できる旨まで記述してほしい。

設問 3(2)では、“顧客と約束した時刻に作業員が遅れることを防止するため”の情報の活用について解答を求めたが、題意と異なり、“顧客へ約束時刻に遅れることを伝える”という解答が見受けられた。

システムアナリストに求められるシステム機能の提案能力を発揮するには、状況を的確に把握すること及びそれに見合ったシステム機能を提案することが重要であり、日ごろからこの視点を身につけるようにしてほしい。

問 3

問 3 では、食品卸売業の物流業務を請け負うために必要となるシステムの改善について出題した。題意はおおむね理解されていたが、本文の状況を把握できていないと思われる解答が一部に見られた。

設問 1 は正答率が低かった。(1)では、計画精度の向上のために、新たに収集した情報をどのように使用すべきかについて解答を求めたが、計画精度の低さが過去の設定によるものであるという理解が不十分な解答が多く見られた。(2)では、走行距離という現在の選択基準に対し、CO₂ 排出量という新たな選択基準への対応方法について解答を求めたが、単に“CO₂ 排出量が少ないトラックの選択”とした解答が多く見られた。

設問 3(1)では、納入先へ提供すべき情報について理解が不足している解答が見られた。これは、問題文中にある検品作業に必要な情報を十分把握していないことによるものと思われる。

システムアナリストは、業務や顧客の課題の整理と情報の活用や強化すべきシステム機能の分析を行い、改善効果や優先順位を考慮したシステム改善構想を立案できる能力を身につけてほしい。

問 4

問 4 では、組込みソフトウェアのアーキテクチャと開発体制の見直しに関する経営戦略上のねらいや、経営戦略を実施するための改善案について出題した。組込みソフトウェアの分野ではあるが、きちんと状況設定を読めば理解できる題材であり、全体として正答率は高かった。

設問 1 では、業務改革案の内容と、それが売上拡大、コスト削減、品質向上に貢献する理由の記述を求めたが、D 社の業務の現状や課題をきちんと把握できていない解答が見受けられた。

設問 2 では、開発コストの更なる削減のためのソフトウェア開発要員の見直し方法について解答を求めたが、“若手が開発を行う”、“オフショア開発を活用する”のように、新しいアーキテクチャに移行した製品に応じた具体的な見直し方法の記述が不十分な解答が見られた。

システムアナリストは、業務の課題を正確に把握した上で、具体性のある改善案を提言できる能力を身につけてほしい。